

# 先端的スポーツ医・科学研究推進事業

令和7年度予算額  
(前年度予算額)

135,324千円  
146,325千円)



## 背景・課題

- ▶ スポーツを取り巻く医科学分野が飛躍的に発展しており、最先端の「**医学分野**」、「**情報分野**」、「**工学分野**」等でのスポーツ医科学研究の推進が必要とされる。  
(**先端的な医科学研究推進の必要性**)
- ▶ 我が国の国際競技力向上において中心的な役割を担っているハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）に最先端の医科学分野の研究者が少なく、これらの分野に強みを持つ研究機関等との連携が必要とされている。  
(**HPSC連携拠点整備の必要性**)
- ▶ スポーツ医科学研究を行う若手研究者を育成する環境が十分に整備されていない  
(**若手研究者育成の必要性**)

## 事業実施期間

令和4年度～令和8年度（予定）

## 事業内容

「医学分野」、「情報分野」、「工学分野」等において、**スポーツに関する先端的な研究**ならびに次世代の中核を担う**若手研究者の育成**を継続的に実施する機関を「**先端的スポーツ医・科学研究拠点**」として指定し、**HPSCと連携**してスポーツ医・科学研究を推進する体制を整える。（3大学×約47百万円）



### 立命館大学

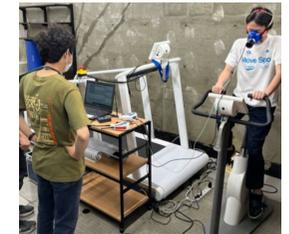
「ハイパフォーマンス・アスリート極限支援研究拠点」

- ・試合中パフォーマンスの見える化とリアルタイム分析によるサポート 等
- ・HPSCとの密な連携により、博士号を取得しHPSC並びに研究機関で先端的研究者として中核を担う人材を育成する「ハイパフォーマンス・コア・サイエンティスト 育成プログラム」

### 筑波大学

「体育・医工情報融合型スポーツイノベーション研究拠点」

- ・AR・ロボティクスを用いた身体拡張・認知支援技術に基づくパラスポーツ競技力向上
- ・血中乳酸濃度評価方法の開発と競技現場への実装 等
- ・体育、医学、システム情報工学の学位プログラムが連携した「体育・医工情報融合エンパワーメント研究・教育プログラム」



### 順天堂大学

「ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ拠点」

- ・アスリート脳の機能解析とトレーニング技術の開発 等
- ・新たな育成プログラムを設置し、複数の効果的な施策を連動させ次世代の中核を担う優秀な若手研究者を育成する「ハイパフォーマンス・トランスレーショナル・リサーチ 育成プログラム」



### R4

- ◆ 契約
- ◆ 体制整備

継続  
審査

### R5

- ◆ 研究テーマごとの検証・改良
- ◆ 学位プログラム準備
- ◆ 人事交流協定締結

継続  
審査

### R6 パリ2024夏季競技大会

- ◆ 研究テーマごとの検証・改良
- ◆ HPSCとの人事交流
- ◆ 博士課程学生募集
- ◆ 研究内容により  
代表選手への**実装**

継続  
審査

### R7 ミラノ2026冬季競技大会

- ◆ 研究テーマごとの検証・改良・実装
- ◆ HPSCとの人事交流（継続）
- ◆ 博士課程学生入学
- ◆ 研究内容により  
代表選手への**実装**

継続  
審査

### R8

- ◆ 研究テーマごとの検証・改良・実装
- ◆ HPSCとの人事交流（継続）
- ◆ 博士課程学生入学/卒業

最終  
審査

### R9～

- ◆ 事業後の**自走準備**
- ◆ **自走開始**

## アウトプット（活動目標）

- スポーツに関する先端的な研究の実施
- 拠点の特性を生かした若手研究者の育成

## 短期アウトカム（成果目標）

- HPSCとの共同研究数  
令和4年度3件→**令和6年度13件**
- HPSCを研究フィールドとする先端的スポーツ医・科学研究拠点の研究者数  
令和4年度0名→**令和6年度6名**

## 中期アウトカム（成果目標）

- 研究成果の競技現場における実装数  
令和4年度0件→**令和8年度13件**
- 育成プログラムで育成される若手研究者の人数  
令和4年度0名→**令和8年度45名**

## 長期アウトカム（成果目標）

- 先端的スポーツ医・科学研究拠点を含めた連携機関（研究）数  
令和4年度3拠点→**令和10年度6拠点**

担当：スポーツ庁競技スポーツ課